National

P型2級複合受信機 BVJ41050□KH（□は防

●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
●施工するには、電気工事士・消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付属品

●施工説明書（本紙）……………………1枚
●取扱説明書………………………………1冊
●松下電工お客様ご相談窓口一覧表…1枚
●掲示板（自動火災報知設備の取り扱いについて）……1枚
●予備品 保管用（ヒューズなど）…1セット
●取付用部品 工事用（終端抵抗器など）…1セット
●電　池……………………………………1コ
●非常放送連動停止ご注意ラベル………1枚

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしないでください。感電・故障の原因になります。
●電池は必ず接続してください。電池が接続してないと停電時に機能しません。
●AC100V専用です。接続まえに入力電圧の確認をしてください。それ以外の電圧では故障の原因になります。
●受信機は施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるようにしっかりと取り付けてください。安易な取り付けは脱落によりケガの原因になります。
●100V端子の保護カバーは工事終了後、必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。

⚠注意

●アースの接続は確実に行ってください。使用時や漏電のときに感電するおそれがあります。

施工上のご注意

●この商品は 屋内専用 です。屋外・屋側には設置しないでください。
●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■地区ベル接続時のご注意

●必ず受信機の地区ベル接続容量以内でご使用ください。
●建物のリニューアル時などで受信機を交換する場合は下記内容にご注意ください。
1.地区ベルが当社BV9212・BV9213の場合はBV9262・BV9263に、当社BV9214・BV9214Kの場合はBV9253・BV9254・BV9254Kに交換が必要です。
2.地区ベルが他社製の場合は、地区ベルのメーカーに駆動方式が電磁式でないことを確認してください。電磁式の場合は、受信機の内部回路を破損するおそれがあります。

■次のような場所には設置しないでください。

（誤動作や故障の原因となります。）

●直射日光の当たる場所
●水滴、蒸気、ほこりなどがかかる場所
●周囲に操作上支障となる障害物のある場所
●衝撃、振動などの影響を受ける場所
●常に人がいなくてようすを確かめられない場所

■施工時のご注意

●電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。（電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化し不良をおこし、誤報の原因となります。）

圧着スリーブ処理

●工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。ショートや故障の原因になります。
●接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。不適切な接続は誤作動・故障の原因となります。
●他社商品との接続は、仕様をよく確認してください。仕様が合わないと不作動や故障の原因となります。
●アースは必ず接続してください。（D種（第3種）接地相当以上（100Ω以下）としてください。）
●感知器配線の終端に終端抵抗器（10kΩ）（付属）（当社品番：BV9840010）を取り付け、終端抵抗器ラベル（付属）を貼り付けてください。また受信機の交換時は、終端抵抗器をご確認ください。指定以外の終端抵抗器は使用しないでください。

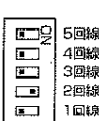
終端抵抗器ラベル（付属）　10kΩ　終端抵抗器

●自火報感知器回線には、蓄積型感知器は接続できません。
●防排煙感知器回線を蓄積にする場合は、蓄積型感知器を接続してください。
●光電式スポット型感知器（2信号）［BV45648］の加煙試験を行う場合は、試験復旧状態にしないでください。光電式スポット型感知器3種の発報確認ができなくなります。

機能設定

注 ●自動解除時間（TA）を変更するときは、電池のコネクタを抜いて、交流電源スイッチを「切」側にしてから設定してください。

●図は自火報5回線・防排煙5回線の場合

❶ 蓄積切替スイッチ（自火報回線のみ）
【例】
右図は、2回線めのみ「L2」を非蓄積に設定した場合を示します。
※感知器ユニットにあります。

❷ 防排煙作動音響切替ジャンパー
【例】（6回線～10回線ユニットの場合）
右図は、8回線めのみ「D8」を鳴動に設定した場合を示します。
※混合ユニットにあります。

注 ●ジャンパー切断時は、切りくずを落とさないように注意してください。ジャンパー切断時は、となりのジャンパー線との接触がないように注意してください。故障の原因になります。

❸ トラブル音響設定スイッチ

❹ 回線数設定スイッチ
注 ●出荷時、設定済です。触らないでください。

❺ 地区音響強制停止スイッチ
●図は解除に設定した場合を示します。

❻ タイマー設定スイッチ
●右図は自動解除時間（TA）を約4分に設定した場合を示します。
注 ●1,2,3には触らないでください。

❼ あき回線登録スイッチ
（ハネ返りスイッチ）
●終端器が接続されていない回線を登録します。
注 ●受信機の電源をOFFにした場合、登録は解除されますので再登録をお願いします。

※このスイッチは使用しません。
注 ●「設定」側にすると受信機は動作しません。
（「定位」側にしてください。）

❶ 蓄積切替スイッチ（自火報回線のみ）

特定の回線を蓄積解除したい場合は、蓄積切替スイッチを「非蓄積」側に設定してください。

出荷時設定
すべて「蓄積」側

❷ 防排煙作動回線（ロック作動時）の音響の鳴動・非鳴動の設定方法

特定の回線を音響鳴動したい場合は、本体内部の作動音響鳴動切替ジャンパーをニッパで切断してください。

❸ トラブル音響の鳴動・非鳴動の設定方法

●トラブル灯が点滅したことを音響にて知らせる機能です。
トラブル音響を鳴動させる場合は、本体内部のトラブル音響設定スイッチを「非鳴動」側に設定してください。

出荷時設定
トラブル音響鳴動する。

❹ 回線数設定スイッチ

自火報5回線・防排煙3回線（BVJ410503KH）の受信機のときは上側に、自火報5回線・防排煙5回線（BVJ410505KH）の受信機は下側に設定してあります。

出荷時設定
各受信機の回線数にあわせて設定してあります。

❺ 地区音響強制停止スイッチ（点検時のみ使用してください。）

●点検時、地区音響を鳴動させない場合は、地区音響強制停止スイッチを「強制停止」側にしてください。「強制停止」状態のときは、地区音響強制停止灯とスイッチ注意灯が点滅し、警戒中 表示が消灯し、約1分間隔でピッ音が鳴ります。

※スイッチには保護カバーが付いていますが、保護カバーを取らずに操作してください。

出荷時設定
「解除」側（地区音響鳴動あり）

点検終了後は、地区音響強制停止スイッチを「解除」側にしてください。

❻ タイマー設定スイッチ（取扱説明書12ページ参照）

●自動解除時間（TA）の設定ができます。
自動解除時間（TA）…地区音響鳴動時に地区音響一時停止スイッチで停止した地区音響の停止状態を自動的に解除して再鳴動させるまでの時間です。

出荷時設定
ON / OFF 1 2 3 4 5 TA

●自動解除時間（TA）：約2分

注 ●非常放送連動端子（EF）は、発信機の発報が入ったとき、または第2報めの火災発報が入ったときに出力します。それ以外は出力しません。

●自動解除時間（TA）
※設定時間は所轄の消防署に確認してください。

タイマー設定スイッチの位置	4 5	4 5	4 5	4 5
自動解除時間（TA）	約2分	約4分	約6分	約8分

❼ あき回線登録スイッチ

1. すべての結線が完了後、通電を行い本体内部のあき回線登録スイッチを「登録」側にしてください。これであき回線はすべて登録されます。
2. 一斉試験をしてあき回線が、確実に登録されたか確認してください。
（取扱説明書30ページ参照）
もし使用回線表示試験のときに感知器および発信機が、接続回線であるにもかかわらず、その地区灯が消灯している場合は終端抵抗器の接続忘れか配線が断線していますので処置してください。正しく処置された回線だけあき回線登録を自動解除します。

取付方法

1 取付位置を決め、取付用プラグボルトを打ち込む。

- プラグボルト（M８）（市販品）の打ち込みと、配線を引き込む位置は左図の取付寸法図のとおりです。
- 中央部のプラグボルトは、露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
- この商品の取付穴寸法はφ10です。
- 露出ボックスの底上げは28mmです。
- AC100V配線と小勢力配線を左図の位置より引き出してください。

注 ●本体の操作スイッチ部が床面から800mm～1500mmの位置になるように取り付けてください。図1参照

2 入線を行う。

- AC100V配線および小勢力配線を分割して入線してください。

3 露出ボックスを取り付ける。

注 ●上下を間違わないように通線口が正面から右側にくるように取り付けてください。
●床面に対し、垂直になるように取り付けてください。傾斜角が大きいと受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。

4 露出ボックスに引っ掛け用ネジを取り付け、本体の扉をあけ、A部を露出ボックスのB部に引っ掛ける。

5 取付ネジ（4ヵ所）は、初めに仮止めする。

- 本体の取付ネジ穴4ヵ所は、すべて長穴（5.5×14）となっていますので、露出ボックス側面に本体枠側面を合わせながら、取付ネジをしめつけてください。

6 配線する。

※「全体の接続方法」（裏面）参照

注 ●AC100V配線を接続する場合、電源端子カバーをはずして接続してください。
●結線後、電源端子カバーを必ず元に戻してください。

7 交流電源スイッチを「入」側にする。

8 電池のコネクタを取り付ける。

9 本体の扉をしめる。

（コモン割付表、移報端子接続表、諸警報地区窓部台紙、およびこの台紙に貼る諸警報地区窓名称ラベルは、取付用部品 工事用 に入っています。）

（取扱説明書、施工説明書は本体内部の説明書ホルダーに入れてください。）

全体の接続方法

⚠警告

- ●AC100V配線の端子ネジは、確実にしめつけてください。感電や発熱・故障の原因になります。
- ●電線のしめつけが不十分な場合、発熱するおそれがありますので確実にしめつけてください。
- ●電源(AC100V)を切り、電池を取りはずした状態で施工してください。活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

注 ●非常放送地区音響停止端子〔EB⁺−EB⁻〕に終端抵抗器が接続されていないとトラブル灯が点滅し、液晶表示部に［非常放送配線断線］表示が点灯します。非常放送設備を設置しない場合または地区音響を接続しない場合は、終端抵抗器を受信機のEB⁺−EB⁻間に接続してください。

■地区音響・防排煙連動

注 ●ロック制御はDC24V出力になります。無電圧出力が必要な場合は、連動用継電器(Uオーダー品)(別売)などをご使用ください。

●自火報5回線・防排煙5回線の場合、下記のように連動します。

自火報固定回線	防排煙固定回線
L1 → BL ⋮ L5 → BL	DL6 → D6 ⋮ DL10 → D10

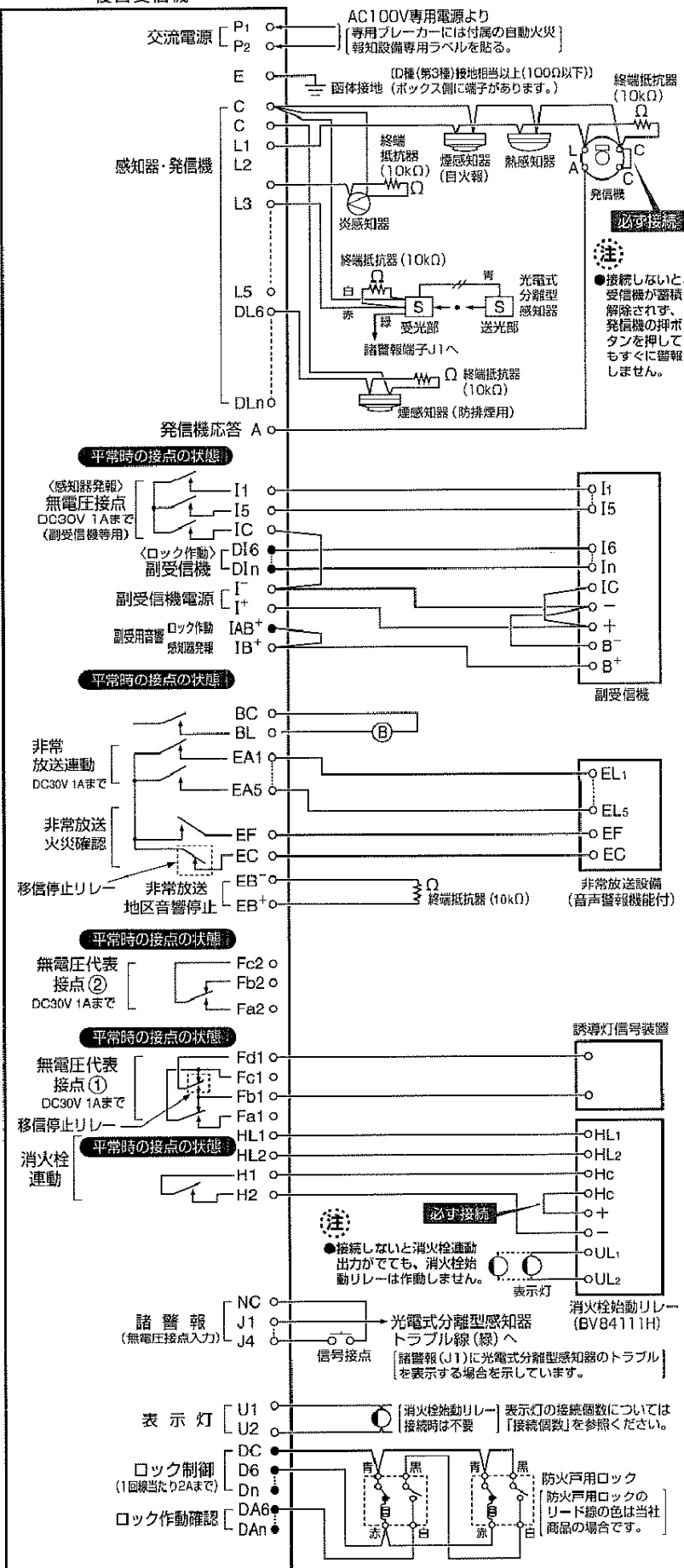
●上記のような自火報固定回線では、感知器回線L1が発報すれば地区音響BLが出力し、防排煙固定回線では、感知器回線DL6が発報すれば防排煙制御回線D6が出力します。

Ln, DLn：感知器回線を示す。
BL：地区音響を示す。
Dn：防排煙制御回線を示す。
nは回線数を示す。

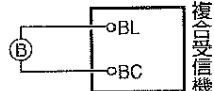
■接続個数

接続機器		接続個数
地区音響装置	DC24V 10mA	20コまで
表示灯	発光ダイオードタイプ	20コまで
	白熱球タイプ(30V 2Wタイプ)	7コまで
感知器(1回線当たり)	熱	無制限
	熱サイバーセンサ	80コまで
	煙	20コまで
	光電式分離型	1コまで
	炎	20コまで

注 ●光電式分離型感知器と他の感知器との混在接続はできません。

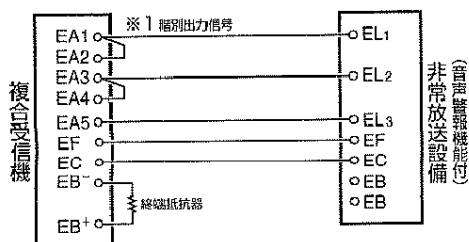
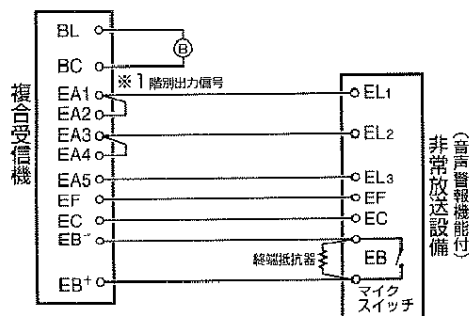
本社〔〒571-8686〕大阪府門真市門真1048 TEL(06)6908-1131(大代表) 松下電工株式会社

地区ベルの接続

注 1. 必ず受信機の地区ベル接続容量以内でご使用ください。
2. 建物のリニューアル時などで受信機を交換する場合は下記内容にご注意ください。
- 地区ベルが当社BV9212・BV9213の場合はBV9262・BV9263に、当社BV9214・BV9214Kの場合はBV9253・BV9254・BV9254Kに交換が必要です。
- 地区ベルが他社製の場合は、地区ベルのメーカーに駆動方式が電磁式でないことを確認してください。
電磁式の場合は、受信機の内部回路を破壊するおそれがあります。

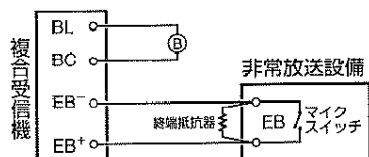
【1】一斉鳴動

非常放送設備との接続

注
- 接続後は、受信機の電源を入れてから非常放送設備の電源を入れてください。
- 絶縁抵抗試験をするときは、非常放送設備の内部回路が破損するおそれがありますので、必ず非常放送設備への配線をはずしてから行ってください。
- 非常放送側の接続端子に終端抵抗器10kΩを接続してください。

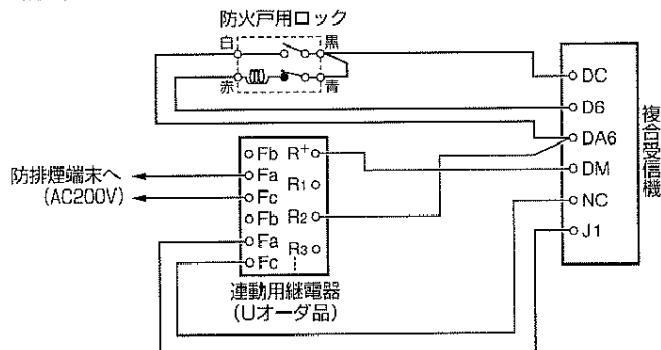
非常放送設備(音声警報機能付)

【1】地区ベルを接続しない場合

【2】地区ベルを接続する場合

※1 ●3階の建物で1階に1・2回線、2階に3・4回線、3階に5回線使用した場合を示します。

3階	5回線	
2階	3回線	4回線
1階	1回線	2回線

非常放送設備(音声警報機能なし)

防排煙側の接続

注 ●防火戸用ロックのリード線の色は、当社商品の場合です。

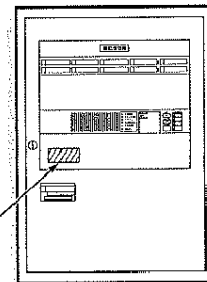
●防排煙端末制御

地区表示・諸警報表示・その他のラベル表示について

1. 地区表示
- 取扱説明書の「受信機の地区ラベルの交換」(33ページ)を参照してください。

2. 諸警報表示
- 取扱説明書の「諸警報台紙について」(34ページ)を参照してください。

3. 非常放送連動停止ご注意ラベル
- 非常放送設備(音声警報機能付)と接続する場合は、付属の下記ラベルを斜線部に貼り付けてください。

ご注意
この受信機の移信(移報)スイッチで
非常放送の連動も停止します

非常放送連動停止
ご注意ラベル

4. 自動火災報知設備専用ラベル
- 専用ブレーカーの近くに貼り付けてください。

5. 掲示板(自動火災報知設備の取り扱いについて)
- 受信機の近くに掲示してください。

施工後の確認方法

●受信機は、下記の試験をしてください。

1. 火災試験……取扱説明書　29ページ参照
2. 一斉試験……取扱説明書　30ページ参照
3. 電池試験……取扱説明書　31ページ参照
4. 防排煙個別起動…取扱説明書　32ページ参照

●接続した感知器は下記の動作試験をしてください。

注 ●詳細は、各試験器に付属の取扱説明書を参照してください。

1. 熱感知器(差動式・定温式・補償式スポット型)の場合は、加熱試験器で加熱試験をしてください。
2. 煙感知器(光電式・イオン化式スポット型)の場合は、加煙試験器で加煙試験をしてください。

A・セキュリティ事業部　津工場〔〒514-8555〕三重県津市大字藤方1668　TEL (059) 228-1211(代表)

1204-1 Ⓚ Ⓐ